

■ 編 集 委 員

齋藤 一之（委員長）

板橋 明

糸山 進次

菰田 二一

鈴木 洋通

竹内 勤

土田 哲也

中塚 貴志

西村 重敬

禾 泰壽

廣瀬 隆則

間嶋 満

渡辺 修一

（五十音順）

■ 編 集 後 記

30年も前でしょうか。今程生命科学の研究が盛んでは無い頃でしたが、ある有名な科学雑誌上で多人数、大規模に行われるビッグサイエンス、それとも少数で個性的に行われるスモールサイエンスのどちらが優れているかという討論が行われました。それぞれの代表格の研究者が登場して論陣を張りました。結論はそれぞれにいいところがあるという大岡裁きでした。

現在の生命研究の流れは世界的に明らかにビッグサイエンスに向かっています。我が埼玉医科大学雑誌第31巻1号では、この流れに対抗するかのごとく個性的なスモールグループ、個人による研究が多く発表されています。スモールグループの研究もっともっと頑張れ！エールを送るのは私だけではないでしょう。埼玉医科大学雑誌に優れた個性的な研究を発表しましょう。読者の皆様よろしくお願いします。

（禾 泰壽）

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第31巻 第1号 通巻112号（季刊）

編集責任者

齋藤 一之

平成16年1月30日 発行

発行所

埼玉医科大学医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2125(直通) FAX 049(276)2127 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>